



深谷中だより



NO. 240

令和8年5月30日

横浜市立深谷中学校

校長 宮内 浩一

「体験を通して深まる学びと絆」

新緑のまぶしい季節となり、爽やかな風の中に初夏の訪れを感じる頃となりました。新年度が始まって一か月あまりが過ぎ、生徒たちは新しい学級や仲間との関係を築きながら、落ち着いて学校生活を送る様子が見られるようになりました。

さて、本校では4,5月に、各学年で校外における体験的な学習活動を実施いたしました。これらの行事は、生徒たちが教室を離れ、実体験を通して仲間との関わりを深めるとともに、自ら考え行動する力を養う貴重な機会となっております。

3年生は、京都・奈良へ修学旅行に行ってきました。古都の歴史や文化に直接触れるとともに、班別自主行動においては、自分たちで計画を立て、状況に応じて判断しながら行動する姿が見られました。事前学習で得た知識を実際の風景や文化と結び付けることで理解を深めるとともに、仲間と協力しながら課題を乗り越える経験は、今後の学校生活や将来に向けた大きな財産となるものです。最上級生としての自覚と責任感の一層の高まりを感じることができました。

1年生は、横須賀市ソレイユの丘において、防災食調理体験と大縄跳びに取り組みました。防災食づくりでは、災害時という限られた状況における工夫や助け合いの大切さを実感し、日常の備えについて考える良い機会となりました。また、大縄跳びでは、声を掛け合いながら何度も挑戦する姿が印象的で、学級の仲間との結び付きが確実に深まっていることが感じられました。

2年生は、戸塚区俣野公園においてチームビルディング活動や大縄跳びを実施しました。仲間と協力して課題に取り組む中で、互いの意見を尊重しながらよりよい方法を模索する姿や、自分の役割を果たそうとする姿が多く見られ、集団としてのまとまりと成長が感じられる機会となりました。

本校では、こうした体験的な学びを大切にしながら、生徒一人ひとりが社会の一員として主体的に生きていく力を育ててまいります。保護者・地域の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

